



## ・・・大野中地区・・・

大野中地区は、駅周辺に商業地域が形成されている一方で、かながわ美林50選にも選ばれている「木もれびの森」等もあり、みどり豊かな地区でもあります。また、毎年9月には、「相模原よさこいRANBU!」が開催され、市内外から多くの踊り手が参加し、リズムカルな音楽と華麗な踊りに7万を越す市民が酔いしれます。

### 大野中地区優秀賞



【撮影者】クリス05

【タイトル】止まれ

【撮影場所】相模原市慰霊塔の参道

【コメント】満開の桜、思わず時よ止まれと思ってしまいます。立ち止まって桜を見よう

### 審査員寸評

慰霊塔参道の桜と言うことで気持ちを重く受け止めていましたが、なんと右側に「止まれ」と「方向指定」の看板が、これ見たかとはばかり現れました。この違和感に驚きましたが、そこがこの作品のセールスポイントですね。許容範囲の広さに感心しました。

【撮影者】坂上 和正

【タイトル】木漏れ日に咲く

【撮影場所】木もれびの森

【コメント】すっかり葉を落してしまった”こもれびの森”。それでも立春の声を聞くと少しずつ暖かくなり、陽光が木の枝の隙間から降り注ぎ、地面に明るい縞模様を作ります。緑が濃くなるまでの少しの間、薄紫色の花が森を彩ります。”ハナダイコン”等と呼ばれていますが、正式の名称は”オオアラセイトウ”アブラナ科の植物です。私はこの優しい花が大好きです。



「第7回 南区 私のイチ押し写真」  
応募作品発表



【撮影者】村田 行男

【タイトル】お花見

【撮影場所】木もれびの森

【コメント】大勢で楽しむ花見も良いものですが、本写真のように一人静かに花を愛でるのも至福の時ではないでしょうか。

【撮影者】諏訪 一紀

【タイトル】幸せを願って

【撮影場所】大沼神社

【コメント】新年「お焚き上げ」に参列した人々は、残り火に団子をかざして今年の幸せを祈っていた。



【撮影者】諏訪 一紀

【タイトル】花筵

【撮影場所】木もれびの森

【コメント】春の道一面に敷き詰められた桜の花筵は、道行く人々に感動の喜びをプレゼントしていた。





「第7回 南区 私のイチ押し写真」  
応募作品発表

【撮影者】矢沢 静雄

【タイトル】パワー全開

【撮影場所】相模原よさこい RANBU!会場  
(JR 古淵駅前通り)

【コメント】相模原市の秋のまつりのトップバッターの“相模原よさこい RANBU!”。今年で16回目を迎えました。今では北海道から九州までよさこいチームが集まり、南区や相模原市を超えて関東を代表する“まつり”に成長しています。写真は北里大学の北里三陸湧昇流の皆さんです。東日本大震災の後、大船渡キャンパスが閉鎖となり相模原キャンパスへ移動となりましたが、このとおりパワー全開で、逆に我々がそのパワーによって元気付けられます。



【撮影者】野末 康雄

【タイトル】こもれびの散歩道

【撮影場所】木もれびの森

【コメント】南区にはこのような緑が豊かで気軽に散歩できる素敵な場所があることを表したかったのです。

【撮影者】野末 康雄

【タイトル】こもれびの杜

【撮影場所】木もれびの森

【コメント】南区にある緑地です。この緑の杜をどの様に表現すれば良いか試行錯誤を繰り返しました。



「第7回 南区 私のイチ押し写真」  
応募作品発表



【撮影者】カツオキング

【タイトル】台風の爪痕

【撮影場所】木もれびの森

【コメント】台風24号の明るる日いつも散歩している木漏れ日の森に入ると大きな木が何本も倒れていました、先に進むと太さ40センチほどの松の木が散歩道を「とうせんぼ」して居ました。其の時自転車の御婦人が通る事が出来ず自転車を持ち上げて通って行きました。

【撮影者】守屋 和夫

【タイトル】若さでダッシュ

【撮影場所】古淵西公園

(相模原よさこい RANBU! 会場)

【コメント】大野中地区最大の行事で市の観光行事にもなっている相模原よさこい RANBU!。会場で踊るチームの若さ溢れる演舞ときびきびとした動きは、観る者を惹きつけ、また彼女たちの青春の1ページとなることでしょう。



【撮影者】守屋 和夫

【タイトル】躍動

【撮影場所】古淵西公園

(相模原よさこい RANBU! 会場)

【コメント】相模原よさこい RANBU! 会場で、全身で演舞する姿は美しく、多くの観客を魅了します。



「第7回 南区 私のイチ押し写真」  
応募作品発表



【撮影者】樋口 隆三  
【タイトル】たわむれ  
【撮影場所】大沼神社  
【コメント】大沼神社に桜を撮りに行きましたが、獅子舞に偶然出会いました。



【撮影者】クリス05  
【タイトル】桜の共演  
【撮影場所】木もれびの森  
【コメント】数年前、こもれびの森に枝垂れ桜を撮影に行ったところ、背景に花が咲き終わった別種の桜があったため共に撮影しました。花が終わってもまだ綺麗！桜の共演です。

【撮影者】内田 芳則  
【タイトル】木漏れ日の林  
【撮影場所】相模原中央緑地（木もれびの森）  
【コメント】木漏れ日の林を撮りました。



「第7回 南区 私のイチ押し写真」  
応募作品発表



【撮影者】石渡 健太郎

【タイトル】木もれびの森でいきいきと

【撮影場所】木もれびの森(大野台地区)

【コメント】季節によって様々な景色を見せてくれる木もれびの森ですが、僕のお気に入りには冬の雪景色と、この紫陽花です。相模緑道緑地などにも紫陽花は咲いていますが、木もれびの森の紫陽花はところどころに咲き、宝探しのように楽しむこともでき、イチ押しです。

【撮影者】谷 雄一朗

【タイトル】紅葉 光と影

【撮影場所】南区大野台 木もれびの森

【コメント】私が住む近所にある「こもれびの森」の片隅に、本当に片隅にひっそりと小さく細い楓の樹があります。多くの人が散歩でこの直ぐ近くを通りますが、あまり気が付かず通り過ぎていると思います。12月のよく晴れたお昼どき、あまり高くまで登らなくなった太陽の光に照らされて、その影を近くの大きな木に、くっきりと落としていました。慌ててカメラを取りに家まで戻り、パシャリ。ように楽しむこともでき、イチ押しです。



【撮影者】小杉 貴美子

【タイトル】迫力満点

【撮影場所】古淵駅前イオン相模原店前

【コメント】初めて見に行った「よさこいRANBU」の46チーム、総勢1,300人が渾身の演舞を披露。この写真のグループ「破天荒」が2018年の大賞に選ばれました。若さ溢れる大学生が満面の笑顔でダイナミックに舞う姿は迫力満点でした。オレンジの衣装が映え、踊り手の斜めに広げた腕が印象的でした。観客席も大勢の人達で人と人の合間からカメラをのぞかせ夢中で撮影しました。南区の伝統行事として続いていくことを願います。